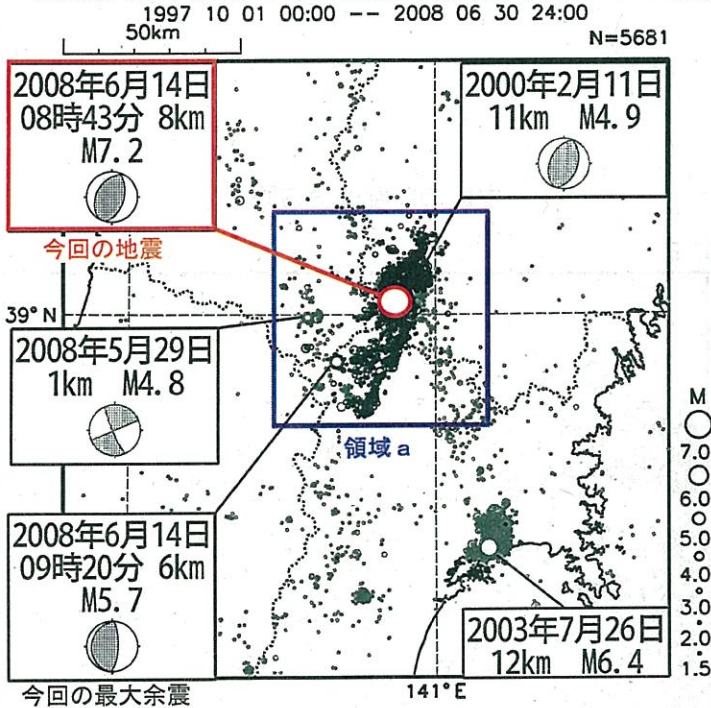


# 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震

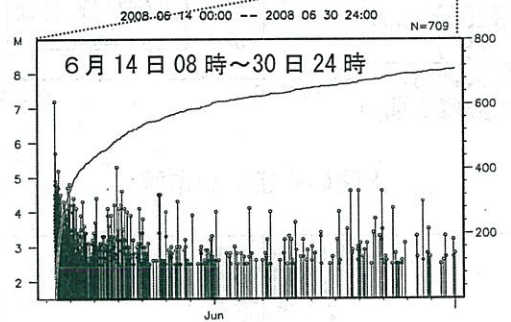
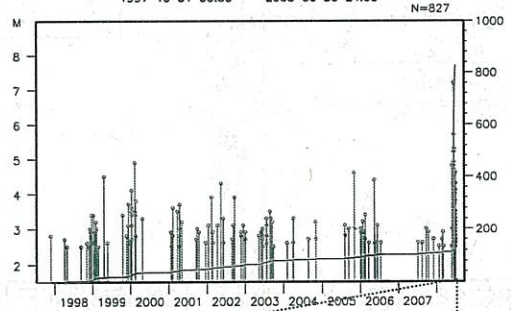
震央分布図 (1997 年 10 月以降、 $M \geq 1.5$ 、深さ 20km 以浅)



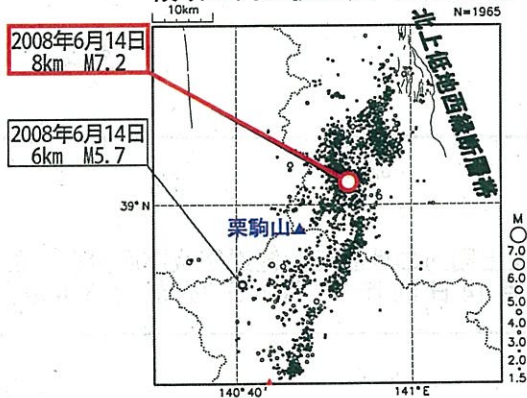
2008 年 6 月 14 日 08 時 43 分に岩手県内陸南部の深さ 8 km で M7.2 (最大震度 6 強) の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。余震活動は減衰してきている。最大余震は 14 日 09 時 20 分の M5.7 (最大震度 5 弱) であった。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では 2000 年 2 月 11 日に M4.9 (最大震度 3) の地震が発生しているのみで、M5 を超える地震は発生していなかった。

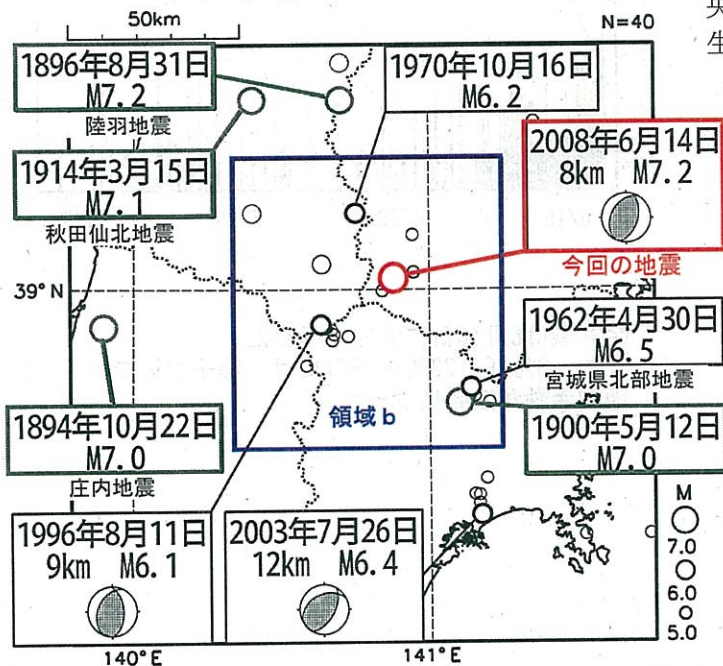
領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図 ( $M \geq 2.5$ )



領域 a 内の拡大図 ( $M \geq 1.5$ )



震央分布図 (1885 年以降、深さ 60km 以浅、 $M \geq 5.0$ )  
(1923 年 8 月以前の震源を薄く表示)



1885 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 b) は M6 を超える地震が時々発生しており、1900 年 5 月 12 日には M7.0 の地震 (死者 13) が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図

